

## 重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	59④				
具体的な取組項目(小項目)	4 その他特別会計の経営改革の取組強化	担当課	保険年金課				
改革実施項目名称(細項目)	後期高齢者医療事業 ・後期高齢者医療保険料収納率の向上						
現状と課題 (これまでの取組み)	後期高齢者医療制度は、新潟県下の全市町村で構成する新潟県後期高齢者医療広域連合を運営主体とし、平成20年に制度がスタートした。広域連合と市町村の役割分担については、広域連合規約や市後期高齢者医療に関する条例などに明記され、広域連合が保険料率の決定や保険料の賦課決定を行い、市町村が保険料の徴収を行うこととされており、市町村は収納した保険料を全額広域連合に納付する仕組みとなっている。 広域連合における財政基盤の強化に各市町村の収納率向上は欠かせないものであり、安定した保険料収納率の維持が課題である。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	《計画期間の目標》 現年分の収納率を確保することで、安定した保険料収入の維持に努める。						
	《事業の最終目標》 広域連合の財政基盤を強化し、後期高齢者の医療を適正かつ安定的に確保する。						
取組の内容	被保険者が高齢者であり、複雑な制度の周知が収納率の向上には欠かせない。そのため、チラシ等による制度周知の強化及び口座振替の推進などきめ細やかな収納対策による収納率向上を図る。						
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/ 29年度以降	
	取組工程 (具体的な内容)	計画	実績	計画	実績		
	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図っている	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図る	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図った。	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図る	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図った。	引き続き、歳入の確保に努める	
指標	保険料収納率(現年普徴分)	98.2%(見込)	98.2%以上	98.6%	98.2%以上	98.8%	前年度以上

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度		※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
	取組の状況	上半期 (4～9月)	計画通りの取組みを行っており、改革指標について、前年同期を超えている。 保険料収納率：37.4% (9月末時点) 前年同期36.4%	予定通り 進捗	概ね計画通りに取り組むことができているが、改革指標については前年同期を0.1%下回っている。 保険料収納率：37.3% (9月末時点) 前年同期37.4%	進捗に 遅れあり	
年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度		
	取組工程、指標に対する評価		計画通りの取組みを行っており、改革指標を達成した。	B	計画通りの取組みを行っており、改革指標を達成した。	B	
	課題、今後の方針、改善事項など		今後も取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。		今後も取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。		
計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価			平成29年度以降	
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		計画通りの取組みを行っており、改革指標を達成した。		B	引き続き、取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。	
	課題、今後の方針、改善事項など		今後も取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。				

## 重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	59④				
具体的な取組項目(小項目)	4 その他特別会計の経営改革の取組強化	担当課	保険年金課				
改革実施項目名称(細項目)	後期高齢者医療事業 ・後期高齢者医療保険料収納率の向上						
現状と課題 (これまでの取組み)	後期高齢者医療制度は、新潟県下の全市町村で構成する新潟県後期高齢者医療広域連合を運営主体とし、平成20年に制度がスタートした。広域連合と市町村の役割分担については、広域連合規約や市後期高齢者医療に関する条例などに明記され、広域連合が保険料率の決定や保険料の賦課決定を行い、市町村が保険料の徴収を行うこととされており、市町村は収納した保険料を全額広域連合に納付する仕組みとなっている。 広域連合における財政基盤の強化に各市町村の収納率向上は欠かせないものであり、安定した保険料収納率の維持が課題である。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	《計画期間の目標》 現年分の収納率を確保することで、安定した保険料収入の維持に努める。						
	《事業の最終目標》 広域連合の財政基盤を強化し、後期高齢者の医療を適正かつ安定的に確保する。						
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成29年度		平成30年度		最終目標/ 31年度以降	
	取組工程 (具体的な内容)	計画	実績	計画	実績		
	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図っている	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図っている	お知らせセンターによる早期催告の実施や口座振替の推進、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図っている。	口座振替の推進や、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図っている	お知らせセンターによる早期催告の実施や口座振替の推進、制度の啓発などにより、保険料収納率の向上を図った。	引き続き、歳入の確保に努める	
指標	保険料収納率(現年普徴分)	98.4%	98.2%以上	98.7%	98.2%以上	98.82%	前年度以上



(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度		
進捗管理	取組の状況	上半期 (4~9月)	計画通りの取組を行っており、改革指標は前年同期を超えている。 保険料収納率：38.1% (9月末時点) 前年同期37.3%	予定通り 進捗	計画通りの取組を行っており、改革指標は前年同期を若干下回っている。 保険料収納率：37.21% (9月末時点) 前年同期38.1%	進捗に 遅れあり

(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	計画通りの取組みを行っており、改革指標を達成した。	B	計画通りの取組みを行っており、改革指標を達成した。	B
	課題、今後の方針、改善事項など	今後も取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。		今後も取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。	

計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	計画通りの取組みを行っており、改革指標を達成した。	B	平成31年度以降 引き続き、取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。
	課題、今後の方針、改善事項など	今後も取組みを継続し、現状の収納率の維持に努める。		